

## 希学園 第404回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第404回公開テスト 小3算数 解説動画(2026年1月11日実施)	<a href="https://vimeo.com/1153112484/3cba9a8188">https://vimeo.com/1153112484/3cba9a8188</a>

1	(1) 920	(2)	421	(3) 25	(4)	228
	(5) 113	(6)	992	(7) 9 (か月)	(8)	250 (mL)
	(9) 69	(10)	7 (倍)	(11) 6 (倍)	(12)	4 (人)

2	(1) 17 cm	(2)	22 cm
---	-----------	-----	-------

3	(1) 19 日	(2)	7 月 2 日
---	----------	-----	---------

4	(1) 10 こ	(2)	30 こ
---	----------	-----	------

5	(1) 30 cm	(2)	20 cm
---	-----------	-----	-------

6	(1) 4 通り	(2)	12 通り
---	----------	-----	-------

希学園 第404回公開テスト 小3 算数 2026年1月11日実施 解説

**1** (5)  $89 + \boxed{\quad} = 202$   
 $\boxed{\quad} = 202 - 89 = \underline{113}$

(6)  $\boxed{\quad} - 97 = 895$   
 $\boxed{\quad} = 895 + 97 = \underline{992}$

(7) 1年3か月 = 12か月 + 3か月 = 15か月  
 $15 - \boxed{\quad} = 6$   
 $\boxed{\quad} = 15 - 6 = \underline{9}$  (か月)

(8)  $3\text{dL} = 300\text{mL}$   
 $\boxed{\quad} = 300 - 50 = \underline{250}$  (mL)

(9)  $8 \times 7 = 56$        $\boxed{\quad} - 56 = 13$   
 $\boxed{\quad} = 13 + 56 = \underline{69}$

(10)  $33 - 5 = 28$        $28 = 4 \times 7$   
 よって,  $\boxed{\quad} = \underline{7}$  (倍)

(11)  $5 - 1 = 4$  …たての間かくの数  
 $25 - 1 = 24$  …横の間かくの数  
 $24 = 4 \times 6$  より, 横の長さはたての長さの 6 倍。

(12)  $11 + 9 = 20$  (人) …国語が好きな人  
 $20 = 10 \times 2$  より, 国語がきらいな人は 10 人。  
 $20 + 10 = 30$  (人) …クラスの人数  
 $30 = 15 + 15$  より, 算数が好きな人は 15 人。  
 $15 - 11 = \underline{4}$  (人) …算数だけ好きな人

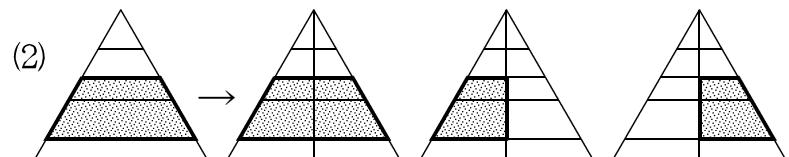
**2** (1) もんだい  
 問題の図から,  $2 + \triangle + 2 + \triangle + 2 = 40$  (cm)  
 $40 - 2 - 2 - 2 = 34$  (cm)  
 $34 = 17 + 17$  より,  $\triangle$  は 17 cm。

(2) 右の図で, イは,  
 $40 - 2 - 2 = 36$  (cm)  
 よって, アは,  
 $54 - 2 - 2 - 2 - 36$   
 $= 12$  (cm)  
 □は,  $40 - 2 - 2 - 2 - 12 = \underline{22}$  (cm)

**3** (1) 日の数の方が多い… 1月から12月まである。  
 これは 12 日。  
 月の数の方が多い… 6月から12月まである。  
 $12 - 6 + 1 = 7$  (日)  
 よって,  $12 + 7 = \underline{19}$  (日)

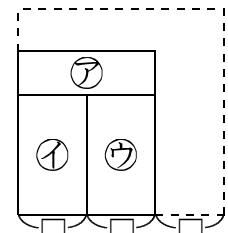
(2) (1)より, 1月から5月までに 5 回あり,  
 6月からは毎月 2 回ある。  
 $8 - 5 = 3$  (回)  
 $3 = 2 + 1$  より, 7月の 1 回目。よって 7月2日。

**4** (1) だん数で場合分けをする。  
 たとえば右の図は 2 だんの四角形。  
 1 だんの四角形… 4 こ  
 2 だんの四角形… 3 こ  
 3 だんの四角形… 2 こ  
 4 だんの四角形… 1 こ  
 よって四角形は,  $4 + 3 + 2 + 1 = \underline{10}$  (こ) ある。



たて線によって, 同じだんでも, 四角形は 1 つか 3 つにふえる。どのだんでも, 四角形 1 つが 3 つにふえることになるので, 四角形は,  $10 \times 3 = \underline{30}$  (こ) ある。

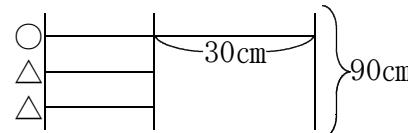
**5** (1) ①と⑦のまわりの長さが同じで,  
 ①と⑦はたての長さが同じなので, 横の長さも同じ。  
 おり返す前の正方形を考えると,  
 $90 = 30 \times 3$  より,  
 □は 30 cm。



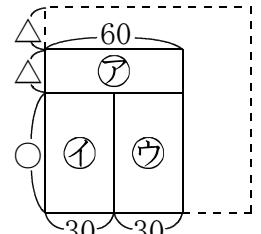
(2) ⑦と①のまわりの長さが同じなので, たて+横も同じ。

右の図から,  
 $30 + ○ = 60 + \triangle$

→ ○は△より 30 cm 長い。



$90 - 30 = 60$  (cm) …△ 3つぶん  
 $60 = 20 \times 3$  より, △は 20 cm。



**6** (1) 3日間すべて, 1校ずつ受験するとき。  
 $(C \text{か} D) \rightarrow E \rightarrow (F \text{か} G)$  ので,  
 $2 \times 1 \times 2 = \underline{4}$  (通り)

(2) 1校目で場合分けをする。  
 1校目がAのとき…2校目はFかGの2通り  
 1校目がBのとき…2校目はFかGの2通り  
 1校目がCのとき…2校目はEかFかGの3通り  
 1校目がDのとき…2校目はEかFかGの3通り  
 1校目がEのとき…2校目はFかGの2通り  
 よって,  $2 + 2 + 3 + 3 + 2 = \underline{12}$  (通り)

(配点) **1**; 各 5 点 × 12      他; 各 4 点 × 10